

教育科目	文章理解 I		教育内容	文章理解 I			講義
学 科 開講学年	短期公務員学科 公務員1年コース1年 公務員学科 公務員2年コース1年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	80 コマ	単位数	5 単位
授業目標	1. 教養試験の文章理解分野において、70%以上の得点を目指す。						
授業概要	現代文・英文・古典の各分野について、解説と問題演習を通じて基本的文章読解力を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点にて判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する)						
使用 テキスト等	「一般知能テキスト」「一般知能演習ブック」(実務教育出版)、自主作成教材						

教育科目	基礎数学 I		教育内容	基礎数学 I			講義
学 科 開講学年	公務員学科 公務員 2 年コース 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	80 コマ	単位数	5 単位
授業目標	1. 教養試験の数学・数学理解・資料解釈分野において、70%以上の得点を目指す。						
授業概要	数学・判断推理・数的推理・資料解釈の各分野について、解説と問題演習を通じて基本的解法を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点にて判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	「一般知能テキスト」「一般知能演習ブック」（実務教育出版）、自主作成教材						

教育科目	社会科学 I		教育内容	社会科学 I			講義
学 科 開講学年	短期公務員学科 公務員1年コース1年 公務員学科 公務員2年コース1年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	39 コマ	単位数	2 単位
授業目標	2. 教養試験の社会科学分野において、70%以上の得点を目指す。						
授業概要	政治・経済・社会・時事の各分野について、解説と問題演習を通じて基本的知識を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点にて判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) (専門知識や資格等を有する)						
使用 テキスト等	「社会科学テキスト」「社会科学演習ブック」(実務教育出版)、自主作成教材						

教育科目	人文科学 I		教育内容	人文科学 I			講義
学 科 開講学年	短期公務員学科 公務員1年コース1年 公務員学科 公務員2年コース1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	39 コマ	単位数	2 単位
授業目標	3. 教養試験の人文科学分野において、70%以上の得点を目指す。						
授業概要	日本史・世界史・地理の各分野について、解説と問題演習を通じて基本的知識を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点にて判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する      専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	「人文科学テキスト」「人文科学演習ブック」（実務教育出版）、自主作成教材						

教育科目	総合演習 I		教育内容	総合演習 I			演習
学 科 開講学年	短期公務員学科 公務員1年コース1年 公務員学科 公務員2年コース1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	22 コマ	単位数	1 単位
授業目標	4. 適性検査・作文試験により、学習到達度を測る。						
授業概要	適性検査・作文試験を実施する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 適性検査・作文試験の得点により判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 公務員各機関での実務経験						
使用 テキスト等	「適性検査」「作文試験」((実務教育出版)						

教育科目	総合実践 I		教育内容	総合実践 I			演習
学 科 開講学年	短期公務員学科 公務員1年コース1年 公務員学科 公務員2年コース1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	22 コマ	単位数	1 単位
授業目標	5. 模擬試験により、学習到達度を測る。						
授業概要	模擬試験を実施する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 模擬試験の得点により判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	「公務員模擬試験」「学内模擬試験」「公開模試」(実務教育出版)						

教育科目	コミュニケーションスキル I		教育内容	コミュニケーションスキル I			演習
学 科 開講学年	短期公務員学科 公務員1年コース1年 公務員学科 公務員2年コース1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	80 コマ	単位数	5 単位
授業目標	6. コミュニケーションスキルを習得する。						
授業概要	課題を通じて自己理解を深め、自己表現力を養う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 提出物・授業参加度により判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	文章理解Ⅱ		教育内容	文章理解Ⅱ			講義
学 科 開講学年	公務員学科 公務員2年コース 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	7. 教養試験における文章理解分野について、基礎を再確認する。						
授業概要	現代文・英文・古典の各分野について、解説と問題演習を通じて基本的文章読解法を再確認する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回	後期	回	前期	回・後期 回
	評定方法 定期試験及び平常点により判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	「一般知能テキスト」「一般知能演習ブック」（実務教育出版）・自主作成教材						

教育科目	基礎数学Ⅱ		教育内容	基礎数学Ⅱ			講義
学 科 開講学年	公務員学科 公務員2年コース 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	18 コマ	単位数	1 単位
授業目標	8. 教養試験における数学理解分野について、基礎を再確認する。						
授業概要	数学・判断推理・数的推理・資料解釈について、基本的解法を再確認する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回	後期	回	前期	回・後期 回
	評定方法 定期試験及び平常点により判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	「一般知能テキスト」「一般知能演習ブック」（実務教育出版）・自主作成教材						

教育科目	社会科学Ⅱ		教育内容	社会科学Ⅱ			講義
学 科 開講学年	公務員学科 公務員2年コース 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	9. 教養試験における社会科学分野について、基礎知識を再確認する。						
授業概要	政治・経済・社会・時事の各分野について、解説と問題演習を通じて基本的知識を再確認する						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点にて判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	「社会科学テキスト」「社会科学演習ブック」（実務教育出版）、自主作成教材						

教育科目	人文科学Ⅱ		教育内容	人文科学Ⅱ			講義
学 科 開講学年	公務員学科 公務員2年コース 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	10. 教養試験における人文科学分野について、基本的知識を再確認する。						
授業概要	日本史・世界史・地理の各分野について、解説と問題演習を通じて基本的知識を再確認する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点にて判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	「人文科学テキスト」「人文科学演習ブック」（実務教育出版）、自主作成教材						

教育科目	総合演習Ⅱ		教育内容	総合演習Ⅱ			演習
学 科 開講学年	公務員学科 公務員2年コース 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	11. 適性検査・作文試験により、学習到達度を測る。						
授業概要	適性検査・作文試験を実施する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 適性検査・作文試験の得点により判定						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	「適性検査」「作文試験」((実務教育出版)						

教育科目	総合実践Ⅱ		教育内容	総合実践Ⅱ			演習
学 科 開講学年	公務員学科 公務員2年コース 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	12. 模擬試験により、学習到達度を確認する。						
授業概要	模擬試験を実施する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評価方法 模擬試験の得点により判定						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	「公務員模擬試験」「学内模擬試験」「公開模試」(実務教育出版)						

教育科目	地域行政研究 I		教育内容	地域行政研究 I			演習
学 科 開講学年	短期公務員学科 公務員1年コース1年 公務員学科 公務員2年コース1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 地域行政の課題を把握する。 2. 実務に向けた問題解決能力を涵養する。						
授業概要	地域行政における課題解決方法を研究し発表する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 提出物・授業参加度により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	キャリア演習 I		教育内容	キャリア演習 I ・ 人間性と社会性 I			演習
学 科 開講学年	短期公務員学科 公務員 1 年コース 1 年 公務員学科 公務員 2 年コース 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	2 単位
授業目標	13. 履歴書の書き方(自己分析・企業分析含む)理解 14. 就職活動に必要な知識・マナーの習得 15. 採用試験に向けた面接の基本を習得 16. 就職活動早期取り組みへの意識付け 17. 職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培う。 18. 社会の中での自己の在り方生き方について認識させ、働くことの意識付けや豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を養う。						
授業概要	履歴書指導により自己分析を行い、合同企業・法人ガイダンスにより企業分析及び就職活動への意識を向ける。また、ガイダンスに向けた身だしなみ、就職活動に必要な基礎知識を身に着ける。学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する。 社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリント等						

教育科目	地域経済研究 I		教育内容	地域経済研究 I			演習
学 科 開講学年	短期公務員学科 公務員1年コース1年 公務員学科 公務員2年コース1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位数	1 単位
授業目標	地域経済について学び、課題意識の向上を図る。						
授業概要	地域経済の状況を、講演などを通じて知り、課題解決方法を研究する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評価方法 提出物・授業参加度によって評価する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 地域企業・団体での実務経験						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	商業・社会 I		教育内容	新入生研修 I ・ 式典出席 ・ 総合体育 I 企画マネジメント I ・ 総合体育 II		演習
学 科 開講学年	公務員学科 公務員 2 年コース 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	25 コマ	単位数 2 単位
授業目標	19. マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。 20. 日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かすことができる。 21. 活動を通じ、チームワークの大切さを知ることができる。					
授業概要	新入生研修、総合体育、学習発表会					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期
	評定方法 出席率及び取り組み状況の評価等の平常点をもって評価する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	自主作成教材					

教育科目	実践ボランティア		教育内容	ボランティア活動			演習
学 科 開講学年	短期公務員学科 公務員1年コース1年 公務員学科 公務員2年コース1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	8 コマ	単位数	1 単位
授業目標	ボランティアを通して、社会や地域のもつ教育力を有効に活用し、奉仕の精神とコミュニケーション能力、主体性を兼ね備えた人材の育成を図り、社会人としての心構えを育む。						
授業概要	事前指導・事後指導に参加する。(1コマ) 地域社会や企業・施設などでボランティア活動を行う。(7コマ)						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	定期テスト	前期	後期	
	小テスト	前期	回・後期	回	小テスト	前期	回・後期
	評価方法 報告書、ボランティア実施先の参加証明、事後指導の提出物により判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	ボランティア先の関係者担当						
使用 テキスト等	なし						